

# 令和5年度農業委員会組織関係予算の留意点等

令和5年2月14日  
(一社)全国農業会議所

# 令和5年度の農業委員会組織の関係予算(予算額)

## 農業委員会組織予算

令和5年度概算決定額（令和4年度概算決定額からの増減）	
農業委員会交付金	47億1,800万円(前年度同額)
都道府県農業委員会ネットワーク機構負担金	5億2,300万円(前年度同額)
農地利用最適化交付金	51億円（前年度同額）
機構集積支援事業	27億5,700万円(2億3,000万円減)
農地調整費交付金	4,700万円(1,000万円減)
農業委員会組織予算の総額	131億4,500万円(2億4,000万円減)

## 地域計画策定のための予算

地域計画策定推進緊急対策事業	7億9,900万円(新規)
----------------	---------------

## 機構集積支援事業について

- ① 農業委員会部分は変更なし
- ② 減額は全国農業会議所につくシステム開発経費(約2億6,400万円の減額)
- ③ 農業会議向けの巡回支援費は増額(2億円⇒2億3,000万円)

# 農地利用最適化交付金の留意点(予算額51億円・対前年度同額)

- 令和3年度の活用は依然低調(活動実績1,150委員会(67.8%)、成果実績429委員会(25.3%))
- 令和5年度予算は、令和4年度の活用実績が出る前に決定(ゆえに同額措置)
- 令和6年度の予算交渉において、令和4年度の不用額がそのまま減額となる可能性が高い
- 最適化交付金を活用している農業委員会に大きな影響

## 【令和4年度】

- 令和4年12月12日に農水省から提示された委員会ごとの配付額を可能な限り活用
- 徹底して以下の4点を確認・推進
  - ① 市町村での予算計上 (配付額の受給のため)
  - ② 農地利用最適化指針の策定 (受給要件を満たすため)
  - ③ 農業委員会サポートシステムの更新(受給要件を満たすため)
  - ④ 上乗せ報酬条例の制定 (配付額のフル活用のため)

## 【令和5年度】

- 当初予算(遅くとも6月補正)での予算計上

## ◆目標地図の素案作成にかかる「地域計画策定推進緊急対策事業」との仕分け

農地利用最適化交付金(事務費)	地域計画策定推進緊急対策事業(農業委員会分)
<ul style="list-style-type: none"><li>・原則、最適化活動は最適化交付金を充当</li><li>・目標地図の素案作成に繋がっても交付金支出可</li><li>・人件費支出は交付金</li></ul> <p>※現状地図作成から目標地図の素案作成まで経費の区分が困難な場合は最適化交付金より支出可</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・目標地図の素案のための①話し合い会場借料、②地図作成費(印刷費、委託費等)、を対象</li><li>・人件費は対象外</li></ul>